

好奇心こそすべて

- 真相に迫る -

チーム B 黒須 小林 古舘 八木

《はじめに》

インタビューにおきまして、大前提として、私たちはこのインタビューした内容をより効率的に今後の学生生活に活かしていこうと思っています。

私たちは企業を選ぶにあたり、2つのテーマを決めました。一つ目は、有名企業に訪問したい。事業の拡大に成功された方々は、私達とは異なる考え方を持っているのではないかと思ったからです。そして二つ目は、日本大学の先輩にインタビューしたい。私達の先輩だからこそ、今後の学生生活に直結するお話が聞けるのではと思ったからです。

以上の2つのテーマから、複数の企業へインタビューを行いました。今回は、株式会社ロフトと株式会社ジェーソンについて発表いたしました。

《株式会社ロフト》

株式会社ロフトは生活雑貨専門店、代表取締役社長は安藤公基様です。ロフトの沿革は、1987年に西武百貨店渋谷店別館に1号店をオープンし、その後1996年に(株)西武百貨店より分社化し、(株)ロフトを設立しました。2019年の現在(3月末日)には、117店舗を展開する大企業となりました。

ロフトは“時の器”という企業理念で、業態や商品を通してライフスタイルを提供し続けてきました。

ここで言う“時の器”は、ロフトの概念である「時代のニーズや空気感、トレンドなどをくみ取り、取り入れること。それを提供すること。そして、いつ来ても楽しんでもらえるお店づくりを心掛けることのことです。

そこで、必要となるキーワードが、“キュレーション”です。キュレーションとは、あたかも美術館のキュレーターが作品を選定し美術展を開くように、店頭の品揃えを編集していくことです。また、編集した商品情報を分類しつなぎ合わせながら、新しい価値を持たせお客様と共有することです。ロフトでは、キュレーションを担う人が、仕入れ担当者(バ

イヤー) であり商品開発の担当者なのです。

<広報部長阿部武様について>

阿部さんは、1956年に渋谷に生まれました。もともと広告に興味があった阿部様は、1976年明治大学の広告とマーケティングのゼミに所属されました。そのゼミでの活動を通して、大きく影響を受けたものが2つありました。1つ目は、『裸を見るな。裸になれ。』というパルコの広告です。この広告によって、時代の流れ、変化する生活者のポジティブな意識を実感しました。そして2つ目は、革新的な消費者志向を理論付けた『ライフスタイル発想法』というマーケティングの教科書です。この本では、「モノの所有価値から使用価値への変化」など消費者の価値観が大きく変化し始めたことを説いています。この2つが阿部様にとって、人生の転機のきっかけとなりました。阿部様が伝えたいことは、時代の流れを感じ、その要因を知った上で行動することが大切であるということです。つまり、さまざまな環境に身を置いて、そこで得た経験を感性のものさしで判断し、さらに自ら情報を発信していくことが大切であるとおっしゃっていました。

《株式会社ジェーソン》

株式会社ジェーソンは、ディスカウントストアとして1983年会社を設立しました。代表取締役社長は太田万三彦様です。1984年に埼玉県で1号店の営業を開始しました2019年現在は101店舗も展開し、“お客様の生活を守り育てる”を企業理念として店舗運営を行っています。

<代表取締役社長太田万三彦様について>

日本大学生産工学部を卒業した太田様は、10代のころから、父親の運営する小売業の手伝い（主に仕入業務）をしていたため、授業に間に合わないことがあり、卒業までに7年かかってしまいました。

普通の大学生とは少し変わった生活を送っていた太田様の当時の目標は、特にはなく、毎日、好奇心のまま、自由に行動していました。そこには豊かになりたいという夢があったからです。太田様がいう豊かとは、選択肢の多いことです。つまり、選択肢が多いと、豊かになる可能性が広がり、豊かさに繋がるということです。

太田様はやり残したこともなく、自分の意志で選んだ結果には悔いはないそうです。例えば、スキー中に板が外れて脊髄損傷したことでさえ後悔はないそうです。太田様は、**【100回失敗しても101回目成功すればいい。失敗を後悔するなら豊かさを追求したい。】**と仰っていました。

お父様に影響を受けていた太田様の当時のマインドについては、20歳のころのマインドというよりは、今まで経験したことがずっと生きているそうです。また、その経験を踏ま

えた上でも、やはり好奇心を持ち続けることと、豊かさへの憧れは変わりません。

今までやってきて良かったことは、広く色々なことを沢山経験したことです。興味に身を任せて、やりたいことを見つけて行動します。その後、また他に興味があることを見つけたら行動し、自分のものにします。これを繰り返すことで、太田様は自分自身の経験値を上げ続ける人生を歩んできました。

伝えたいことは、好奇心に身を任せて挑戦し続けることです。そして、好奇心を持ちつづけて選択肢を増やし、豊かさを追及することが大切です。また、挑戦し続けるためには、自分の挑戦したことを認め、評価してくれる人がいること、そして、自分自身で評価基準を作ることが大切であり、モチベーションに繋がります。

《まとめ》

今回インタビューをした、ロフトの阿部様とジェーソンの太田様のお話をまとめると、一本の筋道があることに気づきました。

それはまず、色々なことに目を向けること。そして、その好奇心のまま、失敗を恐れず挑戦をすること。このように沢山の経験を積み続けることで、時代の流れをくみ取る力が生まれるのです。その力が、今後の自分を助ける力になるということです。

《最後に》

今回の20歳のころを通して、企業の方々にお話を伺うという、とても貴重な経験をさせていただきました。その中で「好奇心」を持つことの大切さに改めて気付くことができました。ここでお話して頂いたことを忘れず、色々なことに好奇心を持ち、挑戦し、より充実した大学生活を送りたいと思います。

株式会社ロフトの阿部様、株式会社ジェーソンの太田様、今回はお時間の都合上お出しできなかった株式会社Eストアの石村様、お忙しい中私たちのインタビューにご協力して下さり、ありがとうございました。心より感謝して、改めて御礼申し上げます。